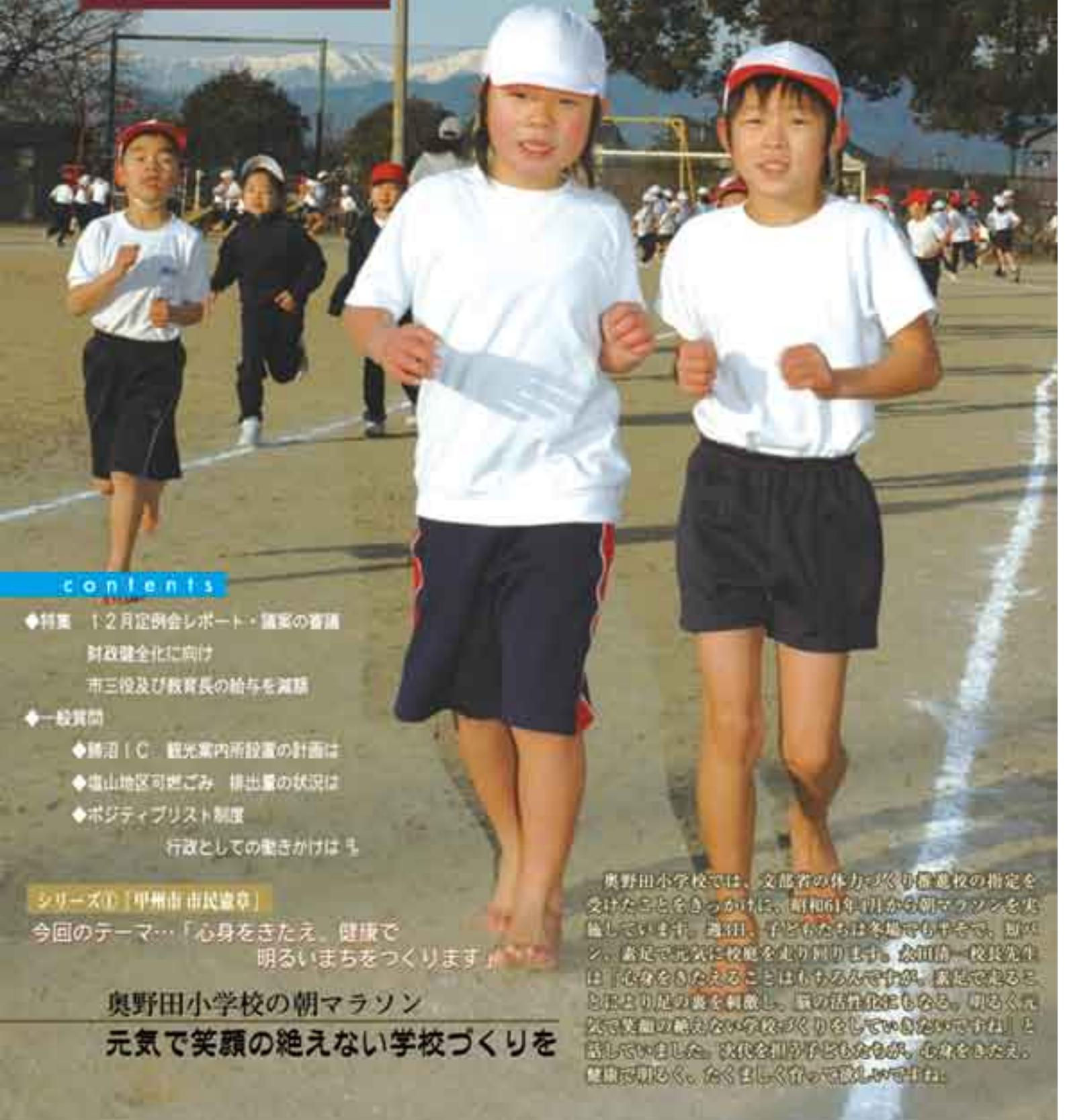


No.5 2007年1月31日号



### contents

- ◆特集 1・2月定期会レポート・議案の審議  
財政健全化に向け  
市三役及び教育長の給与を減額
- ◆経営問  
◆勝沼IC・観光案内所設置の計画は  
◆塩山地区可燃ごみ 排出量の状況は  
◆ボランティアリスト制度  
行政としての働きかけはも

### シリーズ①「甲州市市民暮らし」

今回のテーマ…「心身をきたえ。健康で  
明るいまちをつくります」

#### 奥野田小学校の朝マラソン

元気で笑顔の絶えない学校づくりを

奥野田小学校では、文部省の体力づくり標準校の指定を受けたことをきっかけに、昭和61年1月から例マラソンを実施しています。毎3日、子どもたちは冬場でも走り、走り、走足で元気に校庭を走り廻ります。企画第一段先生は「心身をきたえることはもちろんですが、走足で走ることにより足の裏を刺激し、血の活性化にもなる。朝ぐらで太陽の絶えない学校づくりをしていきたいですね」と語っていました。どれを重ねて子どもたちが、心身をきたえ、健康で明るく、たくましく育つのでしょうか。

# 財政健全化に向け 市三役及び教育長の給与を減額

## 議案の審議・12月定例会レポート



慎重審査の結果、すべての事件を可決した12月定例会。

## 地方自治法改正により 副市長定数条例を制定

### ◆甲州市副市長定数条例

めに所要の改正を行うもので、可決しました。

例制定については、市の財政健全化などの観点から、市三役及び教育長の受ける給料月額について、平成十九年一月一日から平成二十一年三月三十一日の間、五賃から三割減額措置を講ずるため、所要の改正を行うもので、可決しました。

### ◆甲州市農村地域工業等導入促進法第十条の地区等を定める省令の一部改正により、固定資産税等の課税免除などの措置において、対象となる設備の新設等の期間が平成二十年三月三十一日まで延長されたことに伴い、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆甲州市監査委員条例等の一部を改正する条例制定については、地方自治法の一部を改正する条例制定については、地方自治法の一部を改正する法律により、市における監査委員の定数二人が法定化されたこと、並びに助役を副市長に変更し、収入役を廃止し、これに代わり会計管理者を置き、また吏員を職員に変更することとされたことに伴い、甲州市監査委員条例ほか関係条例において、規定の整備を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

平成十八年甲州市議会十二月定例会は、十二月十一日から二十五日までの十五日間の会期で開かれました。平成十八年度一般会計補正予算案や条例案など三十一件の事件が提出され、すべての事件を原案のとおり可決しました。（付託事件の審議内容については、委員会レポートを参照）また、本会議最終日には人権擁護委員の推薦について同意しました。議案の内容を要約してお伝えします。

◆甲州市手数料条例の一部を改正する条例制定については、社会保障に関する日本国とカナダとの間の協定の実施に伴い、カナダ年金受給権者などの戸籍に関する無料証明の措置を講ずるとともに、住民基本台帳法の一部改正により、住民基本台帳の一部の写しの閲覧制度が整備されたことに伴い、手数料を徴収するた

めに所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆甲州市長等の給与及び旅費条例及び甲州市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する條

# カーヴ・ドウ・カツヌマ

## 十二月三十一日で閉店

12月4日に臨時議会を開催



塩山地域の可燃ごみは、12月5日から甲府市へ処理委託が始まった。

## 塩山可燃ごみを甲府市へ委託

平成十八年甲州市議会臨時会（十二月）が十二月四日に開かれ、平成十八年度甲州市一般会計補正予算（第六号）が提出されました。内容は、平成十八年度から平成二十六年度までの間、毎年度予算額の範囲内において、塩山地域の可燃物処理業務を甲府市に委託することに伴い、債務負担行為補正を行つたもので、可決しました。

◆甲州市ぶどうの丘事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定については、ぶどうの丘事業の見直しによりカーヴ・ドウ・カツヌマを平成十八年十二月三十一日をもつて廃止することに伴い、所要の改正を行う必要があるため制定するもので、可決しました。

◆甲州市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定についても、非常勤の委員報酬等の基準額を見直すとともに、

勤務時間による報酬の調整措置を講じることに伴い、所要の改正を行うもので、可決しました。

◆甲州市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定については、職員等が出張の際に支給する旅費の見直しにより、日当を廃止し、宿泊料の職務の級による区分を廃止し、統一することに伴い、所要の改正を行うもので、可決しました。

◆平成十八年度甲州市国庫会計補正予算（第七号）は、一般会計補正予算（第三号）は、七百十四万四千円を追加するもので、主な内容は、保険給付費へ七千八百十万元を追加し、予備費を五百二十二万五千円減額するもので、可決しました。

◆平成十八年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算（第三号）は、七千五百四十万四千円を追加するもので、主な内容は、保険給付費へ七千八百十万元を追加し、予備費を五百二十二万五千円減額するもので、可決しました。

◆甲州市立大和小学校屋水道企業団負担金など一億二千八百二十万五千円を、民生費へ児童保護措置費など一億四千二百四十八万一千円を、農林水産業費へ旬のやまなし地産地消支援事業など三千百一十九万六千円を追加するもので、可決しました。

◆甲州市立大和小学校屋内運動場改築工事（建築主体工事）請負契約締結について、基礎工事施工にあたり、工法の変更及び防犯上のフェンスなどの追加工事により、三百五十三万八千五百円を追加し、一万七千二百五十八万八千五百円で請負契約を締結するもので、可決しました。

◆人権擁護委員の推薦について、金子進氏（六六、塩山竹原）、古屋美代子氏（六六、塩山赤尾）を推薦することに同意しました。

## 交流保養センター・勝沼病院の指定管理者を指定

◆甲州市交流保養センター及び市立勝沼病院の指定管理者の指定については、交流保養センターを山梨総合管財事業協同組合に、勝沼病院を山梨厚生会に指定することについて、可決しました。

◆甲府・峠東地域ごみ処理施設事務組合の設置に関する協議については、甲州市・笛吹市・山梨市・甲州市の四市で協議、検討を重ね、一部事務組合による建設、運営管理をしていくとの結論を得たものであり、可決しました。

◆山梨県後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議については、国民健康保険法等の一部を改正する法律の成立に伴い、平成二十四年四月から七十五歳以上の後期高齢者を対象に、新体工事により、三百五十三万八千五百円を追加し、一万七千二百五十八万八千五百円で請負契約を締結するもので、可決しました。

## 意見書を可決し 関係機関へ送付

◆ドクターヘリの全国配備へ新法制定を求める意見書を可決しました。これは、一分一秒を争う救急医療の切り札として、ドクターヘリの全国配備が強く望まれていますが、運営主体となる都道府県や病院の過重な財政負担が指摘されており、政府において、救急救命に大きな成果を上げるドクターヘリの全国配備を推進するために、財政基盤の確立を含めた体制整備に必要な措置を図る新法制定を強く求めます。

# 委員会レポート

総務常任委員会

## 峡東地域広域水道企業団(琴川ダム)へ 平成17年度までに総額21億5,640万円を出資



昨年10月16日からたん水が始まった琴川ダム。安定供給への活用を期待したい。

十一月定例会において、総務常任委員会に付託された事件は十四件。十一月二十一日に第一会議室で開催し、慎重審査の結果、すべての付託事件を可決すべき内容を要約してお伝えします。

■甲州市農村地域工業等導入促進のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例制定について。

問 企業の誘致は現在どうなっているか。

答 総務企画部長 誘致

富士電機計測機器、エノモト、東和利根ボウリング、

問 総務課長 市長は月額の五割で四万五百円、助役は四割で二万五千三百円、収入役は三割で一万七千二百円である。

問 減額の根拠と、期間を定めている理由を伺いたい。

答 総務課長 減額率、

限付きである。また、新たな設備投資の場合も、三年間の免除措置がある。

■甲州市長等の給与及び旅費条例及び甲州市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 減額される額はいくらくらい同じだ。

答 総務課長 市長は月額の五割で四万五百円、助役は四割で二万五千三百円、収入役は三割で一万七千二百円である。

問 減額の根拠と、期間を定めている理由を伺いたい。

答 総務企画部長 誘致

の企業は、マンツネパック、

■平成十八年度一般会計補正予算(第七号)

問 地方交付税は、前年度からの推移は

答 財政課長 平成十七

年と対比すると、一億七千万円くらい増えている状

況である。

問 林業費補助金の具体的な内容は。

答 財政課長 鳥獣保護法で数を調整するものであるが、本市の獣友会に委託料で支出し、予算では七十頭くらいの計算である。

問 障害者小規模通所施設運営費補助金と精神障害者小規模作業所事業補助金が減額になつたが、何

か問題は起きなかつたか。

答 財政課長 三百万円くらい減額になる。

問 期限が定められていないが、今後見直す予定はあるか。

答 総務課長 実態に即さないので、今後も廃止を続けていく予定である。

問 減税補てん債と臨時財政対策債の交付税措置は、継続してもらえるか。

答 財政課長 臨時財政対策債は、措置が無くなるとは聞かない。減税補てん債は、来年度以降廃止される予定である。

問 琴川ダムの関係で、今までの起債の金額はどのくらいか。

答 財政課長 島東地域

広域水道企業団への出資金としての起債の額は、平成十七年度までの総額で二十億五千六百四十万円であ

る。

問 地方交付税は、前年度の確定額から見るとどうなるか。

答 財政課長 平成十七

年と対比すると、一億七千万円くらい増えている状

況である。

問 林業費補助金の具体的な内容は。

答 財政課長 鳥獣保護法で数を調整するものであるが、本市の獣友会に委託料で支出し、予算では七十頭くらいの計算である。

問 障害者小規模通所施設運営費補助金と精神障害者小規模作業所事業補助金が減額になつたが、何

か問題は起きなかつたか。

答 総務課長 三百万円くらい減額になる。

問 期限が定められていないが、今後見直す予定はあるか。

答 総務課長 実態に即さないので、今後も廃止を続けていく予定である。

問 減税補てん債と臨時財政対策債の交付税措置は、継続してもらえるか。

答 財政課長 臨時財政対策債は、措置が無くなるとは聞かない。減税補てん債は、来年度以降廃止される予定である。

問 琴川ダムの関係で、今までの起債の金額はどのくらいか。

答 財政課長 島東地域

広域水道企業団への出資金としての起債の額は、平成十七年度までの総額で二十億五千六百四十万円であ

# 75歳以上の医療費を 県内広域連合組織で運営



不法投棄が行われる山中。今年度は大和地域に不法投棄阻止事業として防護柵が設置される予定である。

- 教育民生常任委員会に付託された事件は、条例案や予算案など合計十一件。二月二十日に第一会議室で開催し、すべての負託事件を可決すべきものと決しました。審議の内容を要約してお伝えします。
- 平成十八年度診療所事業特別会計補正予算（第二号）  
問 峠東廃棄物対策連絡協議会の不法投棄阻止事業を大和地域で実施するとのことで、決定した経過と内容を伺いたい。  
答 環境課長 県の林務事務所と協議し、不法投棄される場所を勘査しながら大和地域に決定した。今回は防護柵の設置を予定している。
- 平成十八年度一般会計補正予算（第七号）  
問 児童手当について、所得制限の変更に伴い、受給者の状況を伺いたい。  
答 子育て支援課長 四月から対象年齢と所得制限が引き上げられたので、全国的に四十割ほど受給者が増えたと聞いている。現
- 問 児童手当の月額は。  
答 子育て支援課長 第五人、中学生二人の二十一
- 人子の子どもが授業を受けている。
- 平成十八年度甲州市勝沼病院事業会計補正予算（第三号）  
問 健康増進課長 看護師並びに事務職の減額であり、塩山診療所の医師については、休診中のために含まれていない。
- 平成十八年度介護保険事業特別会計補正予算（第二号）  
問 地域密着型介護サービス給付費について、当初予算の倍以上である。見込みが甘かったのではないか。  
答 健康増進課長 地域密着型介護サービス給付費については、二カ所のグループホームが市内に居住する人を優先的に入所させていただけるということを加している。また、特定入所者の介護サービス費については、税制改正に伴い、老人控除などの階層の決定が九月以降になり、当初の見積りより多くなったことが原因である。
- 平成十八年度甲州市勝沼病院事業会計補正予算（第三号）  
問 ナースコール設備などの改修工事とあるが、詳細を伺いたい。  
答 勝沼地域総合局市民福祉課長 病院の廊下を明るくし、会話のできるナースコール設備や電動ベッドの購入をする予定である。
- 甲州市立勝沼病院の指定管理者の指定について  
問 指定管理者導入に伴っては、費用対効果をどのように考えているか。  
答 勝沼地域総合局市民福祉課長 建物の起債の償還は必要であるが、毎年行っていた一般会計からの繰出金は、支出しない約束となっている。
- 山梨県後期高齢者医療広域連合の設置に関する協議について  
問 広域連合で実施することにより、今までと何が変わってくるのか。  
答 市民課長 七十五歳以上の人には、すべて広域連合で対応する予定で、全体の医療費の五割は公費負担、四割を保険者からの提出金で、一割を七十五歳以上の人に負担していただくな

# 寄贈された絵画を ぶどうの丘美術館に展示

建設経済常任委員会に付託された事件は、条例案や一般会計補正予算など合計六件で、十二月二十日に第一委員会室で開催し、すべての付託事件を可決すべきものと決しました。審議の内容を要約してお伝えいたします。

■甲州市ぶどうの丘事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 新宿のアンテナショ

ップを閉鎖することについて、職員の処遇や収金などの関係はどうか。

答 ぶどうの丘事務局長

職員三人とパートを採用していたが、閉鎖するにあたり職員の意向を聞いたところ、自分たちで再就職先

を探すことである。敷

金については、施設利用権として三千七百三十五万四千五百円であり、ビル管理会社との話し合いで、全額が市に返還される予定である。

問 ぶどうの丘に絵画を

寄附していただいたとのこ

とであるが、どう対応した

のか。また、金額によっては、議会の議決が必要だがどうか。

答 ぶどうの丘事務局長

国分寺市の田中秀次郎氏よりブルガリアの芸術家の絵画、リトグラフ二十点を寄附していただいた。価値等については調査中であり、寄附者の意向を尊重し、寄贈展としてぶどうの丘の美術館に展示している。

問 平成十九年度における市への納付金、年額六十

万円はどのようにして決めたのか。

答 産業建設部長 市の

出した仕様書で、運営費がかかる利用料金について、将来的に百分の十以内で納付していただきたいとした

金額である。

問 組合の定款で、事業

の目的を確認しているか伺いたい。

答 産業建設部長 定款によると、本組合は組合員の取扱う建造物に関する建

物サービスを行うとあり、現地法人を設立して経営にあたるとのことである。

問 現地法人の設立では、大菩薩の湯の受託経営とならないのではないか。

答 産業建設部長 市の仕様書に基づき書類の提出を受けたが、類似した公営施設で実績を上げており、選定委員会において決定した。

問 現地法人についての考え方は、どのような話になつているのか。

答 産業建設部長 あくまでも契約者は甲州市長と山梨総合管財事業協同組合理事長、三神茂である。運

営については仮協定に明記しているとおりである。



ブルガリアの芸術家の絵画など20点が寄贈されたぶどうの丘。寄附者の希望により、寄贈展が開催されている。

## ■平成十八年度一般会計 補正予算（第七号）

### □農林水産業費

問 大和地区的有害獣防護柵の設置工事の進行状況はどうか。

答 果樹農林課長 すでに発注されており、年明けには工事が行われる予定である。

### 交流保養センター 指定管理者の選定経過は

■甲州市交流保養センターの指定管理者の指定について

問 山梨総合管財事業協同組合はビルメンテナンスや環境管理が主体であるが、選定するに至った経過を伺いたい。

答 産業建設部長 山梨

総合管財事業協同組合は、平成十六年に関東経済産業局長から官公需適格組合として認定管理事業は県営のアクアリゾートなど四施設を受注しており、適格であると判断された経過である。

問 平成十九年度における市への納付金、年額六十

万円はどのようにして決めたのか。

答 産業建設部長 市の

出した仕様書で、運営費がかかる利用料金について、将来的に百分の十以内で納

付していただきたいとした

金額である。

問 組合の定款で、事業

の目的を確認しているか伺いたい。

答 産業建設部長 定款によると、本組合は組合員の取扱う建造物に関する建

物サービスを行うとあり、現地法人を設立して経営にあたるとのことである。

問 現地法人の設立では、大菩薩の湯の受託経営とならないのではないか。

答 産業建設部長 市の仕様書に基づき書類の提出を受けたが、類似した公営施設で実績を上げており、選定委員会において決定した。

問 現地法人についての考え方は、どのような話になつているのか。

答 産業建設部長 あくまでも契約者は甲州市長と山梨総合管財事業協同組合理事長、三神茂である。運

営については仮協定に明記しているとおりである。

# 委員会レポート

環境整備等調査特別委員会

## 塩山地区可燃ごみ 甲府市の処理施設が受け入れへ



塩山地区の可燃ごみの受け入れを始めた甲府市環境センター、平成27年3月までの契約が交わされた。

問 東場の雁坂峠は通行についているようである。甲府市については、地元との協議を前向きに進めていただ

説明 環境課長 十月末日をもって、オリックス資源株式会社との契約期限が満了するが、受け入れをお願いしている甲府市と地元との協議が続いているため、引き続き、一ヶ月単位で処理をお願いしたい。甲府市については、地元との協議を前向きに進めていただ

問 地元三地区と四年間の使用延長について

答 環境課長 甲府市が協議を進めてきたが、九月二十五日に協議が整い、合意に達した。これを受けて、改めて塩山地区のごみの受け入れを要請している状況である。

問 東山梨環境衛生組合の施設も平成

■十一月四日に開催された委員会では、塩山地区のごみ処理の対応についての説明を受けた後、質疑を行いました。

答 環境課長 収集態勢は、従来と同じように市内を収集し運搬をする。収集日は月曜日から土曜日まで同じだが、土曜日に祝日が重なった場合は、次の指定期日になる予定である。

問 収集態勢や収集日はどうなるのか。

答 環境課長 収集態勢は、従来と同じように市内を収集し運搬をする。収集日は月曜日から土曜日まで同じだが、土曜日に祝日が重なった場合は、次の指定期日になる予定である。

■十月三十日は、塩山地区のごみ処理状況について説明を受けた後、質疑を行いました。

説明 環境課長 距離が伸び中央道の利用料金も掛かるが、既存の予算の中で対応できる状況である。時間

的な業者の負担は無いと考

えている。

問 甲府市との交渉は、塩山地区のごみであり、東山梨環境衛生組合の施設の交渉がうまくいかなかつた場合は、新たな交渉になると理解してよろしいか。

答 環境課長 甲府市との交渉は、あくまでも塩山地区のごみである。

問 オリックス資源株式会社との契約が一ヶ月ごとに小刻みのような気がするが、余裕を持つた契約はできないのか。

答 環境課長 受け入れの甲府市も短期間のうちにことの整理をしていく考えのようなので、それに準じて短期間の契約を行っていただきたい。

答 環境課長 甲府市が受け入れている他のごみの単価は、消費税込みで三万二千五百五十円であるが、その他の施設周辺の環境整備に係る経費が十倍相当額の三千二百五十五円掛かり、負担金として支払うものである。

問 単価の積算根拠を同

かねてから甲府市にお願いしてきたところ、十一月二十七日に甲府市と地元の甲府市ごみ処理施設建設対策委員会との協議が調い、十一月三十日に正式に受け入れの許可が下りた。これを受けて、十二月五日に協定書の締結を行うことになった。処理単価はトン当たり、三万五千八百五円の予定で、期間については、甲府市のごみ処理施設の操業を停止するまでの平成二十七年三月を予定している。

十人の議員が登壇し、市当局の考え方をただ

古屋匡三議員  
Q 勝沼  
A 地理的に困難で他の方策を検討  
スマを閉店し、新設を検討しているようだが、どのような営業形態などを考えているか伺いたい。

答 市長 出店場所や規模、事業内容などは、今まで以上の目的、役割を果たしながら、個性豊かな運営を考え検討している。

問 勝沼ICから各観光地に誘客するために観光案内所が必要だと考える。三月定例会でも質問したが、計画を伺いたい。

答 産業建設部長 最適な場所は、料金所を出て国道二十号へ進入する手前のトイレ付近と思われるが、地理的にも困難な状況である。今後、他の方策も含め研究していきたい。

問 鉄道遺産公園について、トイレと駐車場整備は。

また、電気機関車の公開方法をどのようにするのか。

答 観光商工課長 トレーラー整備は、JRと協議し検討したい。駐車場については、駅東側にある市の駐車場を有料化も含め利用していただき、駅南の駐車スペースは、駅の送迎用のみの利用とする予定である。電気機関車の内部の公開は、原則非公開とするが、一定期間の土・日曜日やイベント開催時、また学校などの見学希望のある場合は公開していきたい。

問 散策路の設置とQRコードを含めた案内板の整備について、進行状況は。

答 観光商工課長 散策路については、塩山地域に三コース、勝沼、大和地域にそれぞれ一コースが設定されているが、現在大日影

トンネル遊歩道を整備中であります。また勝沼朝市の会場を拠点としたフットバスを実施したが、このコースも手軽な散策路として設定したい。QRコードは、市のパンフレットなどに掲載しているが、観光案内板などへの導入も検討していくが、

問 遊休農地対策として、補助事業などの進行状況を伺いたい。

答 産業建設部長 今まで百二十七件の利用集積が行われ、特定法人の農業参入により、一・五蔵を活用しワイン産業の活性化が図られ、さらに二・一蔵の農地整備を行い、農業基盤強化の推進を支援してきた。今後も関係機関と連携し、事業を推進していきたい。

問 環境美化条例と空き地に引き継ぎ、甲州市空き缶等散乱防止及びその回収に関する条例を制定した。空き地の適正な管理については、関係課や土地所有者などと連絡をとりながら対応していきたい。

問 有害獣対策の補助金について、事前申請でなければ駄目だと聞いたがどうか。また、再度の申請ができるか伺いたい。

答 産業建設部長 事業費の二分の一、五万円が限度の補助制度であるが、事前に審査を受けていただきたい。また、一度対象となつた場合は、対象外である。

問 有害獣の捕獲の権は足りているのか。

答 産業建設部長 クマ用が五基、イノシシ用が二基、サル用が三基あり、今後増設も検討していきたい。

地の適正な管理条例について、制定の考えはあるか。

答 環境課長 旧三市町村の条例を引き継ぎ、甲州市空き缶等散乱防止及びその回収に関する条例を制定した。空き地の適正な管理については、関係課や土地所有者などと連絡をとりながら対応していきたい。

問 獣友会への補助金の統一した基準はあるのか。

答 産業建設部長 地域性を生かした事業内容により補助金が交付されているが、平成十九年度からは基準を統一していきたい。

問 わな設置の許可免許について、市職員に習得させる考えは。

答 産業建設部長 獣の安全性や社会状況を勘案し、関係機関と協議し検討していきたい。

問 獣友会への補助金の統一した基準はあるのか。

答 産業建設部長 地域性を生かして

公民館活動 民館に対し、地域の個性を配慮する考えは。

答 生涯学習課長 地域に根ざした地域住民のための地区公民館、自治公民館活動の活性化に努め、生涯学習の充実を図っていきたいと考えている。



鉄道遺産記念公園に設置された電気機関車。内部は原則非公開であるが、一定期間の土・日曜日や見学希望がある場合は公開される予定である。

## 質

しました。主な内容を要約してお伝えいたします。

A

塩山地区  
可燃ごみ

## 大幅な減量で資源化が進行



大幅な減量となっている塩山地区の可燃ごみ。  
今後もごみの資源化を推進していきたい。

問 循環型社会の構築を前提に、ごみ減量化計画の進行状況と今後の具体的な計画を伺いたい。

答 市長 山梨県ごみ処理広域化計画Cブロック構想に基づき、四市が共同でごみの広域的中間処理施設の建設を進めるよう要請があり、これを受けて四市で協議、検討を重ね、一部事務組合の設立に至ったところである。今後は一部事務組合において廃棄物の発生、

抑制、リサイクル、最終処分されるごみの量の削減など数値を掲げた循環型社会形成推進計画を策定し、循環型社会形成推進交付金を活用できる、リユース、リユース、リサイクルの推進を実施していきたい。また、一部事務組合とは別にごみ減量化を中心とする環境施策について、協議する場を設ける予定となつていい。

問 リサイクルされていることにより、焼却するごみの量が減少していることは承知しているが、ごみの排出量はどういう状況か伺いたい。

答 環境課長 可燃ごみに指定袋を導入したことでの大幅な減量になつてている。平成十五年度の排出量が六千四百三十七t、平成十六年度が五千七百六十八t、平成十七年度が四千六百九十七tで、平成十五年度と比較すると二十七・一割の大幅な減量となり、資源化が着実に進んでいる状況である。

問 一般廃棄物の事業系ごみについて、現状では事業者が環境センターへ持ち込み、積み替えて焼却業者に回していくといふやり方であるが、業者が直接、事業者と連携し、回収する方法もあるのではないか。そのような検討を行つたか伺いたい。

答 環境課長 事業系の一般廃棄物については、県外の民間施設へ委託している経過である。本来は事業

でのほうとう祭りや駅からハイキングなどにおいても、ごみ減量化に基づきごみをも同いながら進めていきたないと考えていく。本市が、自らのイベントにおいてリユースを行うべきだと考えるがどうか。

答 環境課長 大和地域

でのほうとう祭りや駅からハイキングなどにおいても、ごみ減量化に基づきごみをも同いながら進めていきたないと考えていく。本市が、自らのイベントにおいてリユースを行うべきだと考えるがどうか。

## 各種イベント統一や整理の考え方

問 各種イベントの統一化や整理について、進行状況と今後の方向性を伺いたい。

答 総合政策課長 イベントの必要性、有効性を再認識し、統廃合やコスト削減、市民団体などとの協働、連携の促進など総体的な視点から精査を予定しており、担当課による見直し調査の作成、実績報告や決算内容の確認を行い、実際にイベントに携わった実行委員会や関連団体の代表に対して、イベントのあるべき姿や課題、改善できる点を聞いている段階である。今後はその内容を取りまとめた上で、市行政改革推進本部で検討し、方向性を見出して行きたいと考えている。

問 本市には大きなイベントが幾つもあるが、その会場で大量に発泡スチロールの使い捨て容器や割り箸が使われている。また、カップ類もほとんどが使い捨てのものであるが、資源循環型を構築しようとしている本市が、自らのイベントにおいてリユースを行うべきだと考えるがどうか。

答 環境課長 大和地域でのほうとう祭りや駅からハイキングなどにおいても、ごみ減量化に基づきごみをも同いながら進めていきたないと考えていく。本市が、自らのイベントにおいてリユースを行うべきだと考えるがどうか。

問 各種イベントの統一化や整理について、進行状況と今後の方向性を伺いたい。

答 総合政策課長 イベントの必要性、有効性を再認識し、統廃合やコスト削減、市民団体などとの協働、連携の促進など総体的な視点から精査を予定しており、担当課による見直し調査の作成、実績報告や決算内容の確認を行い、実際にイベントに携わった実行委員会や関連団体の代表に対して、イベントのあるべき姿や課題、改善できる点を聞いている段階である。今後はその内容を取りまとめた上で、市行政改革推進本部で検討し、方向性を見出して行きたいと考えている。

## 一般質問

武藤雅美議員

Q

## ポジティブリスト制度 行政としての働きかけは

A

### ドリフトの発生対策の啓発を実施

問 ポジティブリスト制度について、行政として残留基準値の範囲に余裕のある農薬の適応作物の登録拡大や新たな基準値の設定、農薬の飛散防止対策など、国や県、JAに対しても具体的にどのような働きかけをしたか伺いたい。

答 果樹農林課長 県、JAなどと連携を図り、散布方法の改善、補完的対策を講じるなどして、ドリフトの発生を少なくするよう対策の啓発に努めてきた。農薬の拡大登録や基準値の設定については、残留基準値の設定許容量の範囲の中で県、JAなどと連携し対応していくたい。

問 フランス・ボーヌ市 来年度の交流計画は

答 市長 友好都市調印を無事に果たすことができ、中学生も市民や中学生らと交流を深めるとともに、見聞を広め、今後の人生において役立ててもらえると確信している。来年度は相互

問 総務課長 市内五カ所に、東海地震による被害想定状況で二日間は十分対応できる備蓄をしている。

問 備蓄品の保管場所や施設の安全性はどうか。

地元農家のリンゴなども提供された大和地域の学校給食。  
積極的な地産地消の取り組みを期待したい。

問 他市町村と協調し農家の声を国や県、JAに発信していく考えはあるか。

答 果樹農林課長 県果樹試験場や関係市町村、JAなどと連携を密にして、安定した農業経営ができるよう進めていきたい。

問 学校給食において、果物にかけられる予算は三ヶ月や品種によっては提供できない品目が出てくるが、市から材料費に補助を行う考えは。

答 総合政策課長 検討

対策本部機能の代替施設として整備していく。対策本部機能の代替施設として整備していく。診断結果にどう対応するのか。考慮し、教育施設の耐震改修計画を作成する予定である。

## 一般質問

矢野義典議員

Q 二本木線  
A 平成十九年四月から運行開始を予定

ス 大菩薩の湯への延長時期は



大菩薩の湯への延長が望まれている二本木線バス。平成19年4月から運行される予定である。

問 大菩薩の湯の利用者から、二本木線バスの延長が望まれているが、実施時期はいつか伺いたい。

答 総合政策課長 平成十九年四月の運行開始を目指し、運行業者などに所要の手続を依頼している。

問 インフルエンザ予防接種助成事業について、一回目の助成だけでなく二回目への助成も必要と考えるがどうか。

答 子育て支援課長 三歳児から小学校六年生まで一律千五百円の補助を行っているが、今後の状況を見ながら十分検討していただきたい。

問 文部科学省では「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進を行っているが、本市の取り組みは。

答 生涯学習課長 青少年育成市民会議を中心とした愛のパトロールや諸事業をとおして基本的生活習慣の形成などに取り組んでい

問 大菩薩の湯の利用者が望まれているが、実施時期はいつか伺いたい。

答 総合政策課長 平成十九年四月の運行開始を目指し、運行業者などに所要の手続を依頼している。

問 国では地産地消の農産物を使用する割合の増加を目指としている。本市も地産地消推進計画を策定し推進すべきと考えるがどうか。

答 学校教育課長 学校給食では、計画的な量の確保や時期、価格、安全性や衛生面など課題もある。峡東地域全体を考慮し、県の

問 国では地産地消の農産物を使用する割合の増加を目指としている。本市も地産地消推進計画を策定し推進すべきと考えるがどうか。

問 平成十九年度に文部科学省において、放課後子どもプランが創設される予定であるが、今後どのように取り組みを考えているか。

答 生涯学習課長 地域教育再生プランによる事業導入や、子育て家庭の支援、

問 いじめが原因で自殺者が相次ぎ、社会問題となつていて。学校教育として、いじめの根絶と共に、いじめる側が百害無一利といふ認識の徹底が必要だと考えるがどうか。

答 教育長 いじめは、百害無一利といふ認識である。いじめられた児童の立場に立って、未然防止、早期発見、早期対応するためには、教師すべてが根絶に取り組んでいくところである。何かのサインを教師も家庭も見逃さず、

答 総合政策課長 平成十九年四月の運行開始を目指し、運行業者などに所要の手続を依頼している。

問 インフルエンザ予防接種助成事業について、一回目の助成だけでなく二回目への助成も必要と考えるがどうか。

答 子育て支援課長 三歳児から小学校六年生まで一律千五百円の補助を行っているが、今後の状況を見ながら十分検討していただきたい。

問 文部科学省では「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進を行っているが、本市の取り組みは。

答 生涯学習課長 青少年育成市民会議を中心とした愛のパトロールや諸事業をとおして基本的生活習慣の形成などに取り組んでい

る。今後も関係諸団体と連携し、地域ぐるみで積極的に推進していただきたい。

問 国では地産地消の農産物を使用する割合の増加を目指としている。本市も地産地消推進計画にのっとり、広域的に推進していくたい。

問 医療費窓口無料化 県にならうべきか。

答 市長 本市では国保世帯を対象に、独自に窓口無料化を実施しているが、今後は完全窓口無料化を推進していただきたい。

問 いじめが原因で自殺者が相次ぎ、社会問題となつていて。学校教育として、いじめの根絶と共に、いじめる側が百害無一利といふ認識の徹底が必要だと考えるがどうか。

答 市民生活部長 公の施設の適正な管理、サービス向上、管理経費の節減に努め、運営体制を検討していただきたい。

問 平成十五年度からコンビニなどの民間機関で、レジットカードによる使用料の納付が可能となるが、本市も積極的な取り組みが必要だと思うがどうか。

答 税務課長 平成二十一年度をめどに、収納システムの構築を行うなど、納税者のニーズと合わせ、検討していただきたい。

答 水道課長 地方公営企業法において、経費については、運営に伴う使用料によらなければならないとあり、受水及び排水の原価に対し、適切な水道料金を設定する必要があるので、審議会を開催し、事業計画と併せ設定していただきたい。

問 鈴宮寮の運営は、国や県が行うべきだと考えるがどうか。

答 市民生活部長 公の施設の適正な管理、サービス向上、管理経費の節減に努め、運営体制を検討していただきたい。

問 平成十五年度からコンビニなどの民間機関で、レジットカードによる使用料の納付が可能となるが、本市も積極的な取り組みが必要だと思うがどうか。

答 税務課長 平成二十一年度をめどに、収納システムの構築を行うなど、納税者のニーズと合わせ、検討していただきたい。

# 一般質問

岡 武男議員

Q

## 有害獣駆除の状況は

A 昨年より捕獲数、被害額も増大

ら検討したいと考えている。

問 いじめ

を苦にした自殺問題を契機に、いじめ問題が連日マス

フを八校に配置した。

答 市長 本年度より設置しており、学校において生活や学習支援の必要な児童、生徒の支援にあたっている。年度当初五人のスタッフを八校に配置した。

問 今後の支援スタッフの補充計画はどうか。

答 市長 支援の必要な児童、生徒が増えており、支援の必要な子どもたちのため、拡充の方向で検討している。

問 合計特殊出生率は過去最低の一・二六で確定したが、本市の子育て支援事業の内容と現状はどうか。

答 市長 乳幼児、児童の健全育成を図るために、さまざまな支援対策に取り組んでいます。財政的には厳しいが、重点的に予算配分をしていきたい。

問 仕事と子育ての両立支援する施策を行う考えはあるか。

答 市長 仕事と子育ての両立支援する施策を行なう考えはある。

問 仕事と子育ての両立支援する施策を行なう考え方がある。

答 市長 地域の子育てをお互いに支え合うファミリーサポート事業を、市次世代育成支援行動計画と整合性を図りながら、導入できるよう取り組んでいきたい。



担任の教師とともに児童、生徒の支援にあたっている学校支援スタッフ。今後もさらなる拡充が望まれている。

問 有害獣駆除対策について、今年もイノシシ、クマなどの山里への出没が頻繁になり、農作物への被害、また山間地の住民の生活の安全、安心が支障をきたしている。県によるクマの目撃情報は例年の四倍。クマの駆除頭数は八十九頭であり、うち本市は十六頭と県下で一番多く駆除されているが、本市における昨年度の捕獲数と被害額、また本

答 果樹農林課長 平成十七年度については、捕獲頭数がイノシシ一十四頭、クマ一頭、サル八頭、シカ三十五頭、鳥類四百五十四羽であり、被害額は五百八十八万円。平成十八年の現在では、イノシシ四十五頭、クマ十八頭、サル二十頭、シカ二十一頭、鳥類五百四十五羽、約八百万円であり、昨年より捕獲数も被害額も増大している。

問 本市の防護柵の設置

答 果樹農林課長 塩山地域では平成十三年度から県営事業として十九・二%が、勝沼地域では平成八年度に三%が、今年度祝地区へ三・四三%が行った。大和地域では平成十四年度に二・九%が設置し現在初鹿野地区に一・二%が工事中である。

問 防護柵の維持管理及び指導はどうしているか。

答 果樹農林課長 事業導入時に管理組合を立ち上げ、効率的に管理をしている。

答 果樹農林課長 地域各管理組合が、施設の見廻りや点検作業を行い、対応するよう指導している。

答 果樹農林課長 地域未設置地域への設置計画と低い防護柵のかさ上げなどについてはどうか。

答 果樹農林課長 地域の理解と導入への取り組みを図り、国や県の補助事業の導入を推進していく。また、既成で低いものについては、設置状況を見なが

学校支援スタッフ  
補充の計画は

問 今年度の学校支援ス

タッフの現状はどうか。

答 市長 本年度より設置しており、学校において生活や学習支援の必要な児童、生徒の支援にあたっている。年度当初五人のスタッフを八校に配置した。

問 今後の支援スタッフの補充計画はどうか。

答 市長 支援の必要な児童、生徒が増えており、支援の必要な子どもたちのため、拡充の方向で検討している。

問 合計特殊出生率は過去最低の一・二六で確定したが、本市の子育て支援事業の内容と現状はどうか。

答 市長 乳幼児、児童の健全育成を図るために、さまざまな支援対策に取り組んでいます。財政的には厳しいが、重点的に予算配分をしていきたい。

問 仕事と子育ての両立支援する施策を行なう考え方がある。

答 市長 仕事と子育ての両立支援する施策を行なう考え方がある。

問 仕事と子育ての両立支援する施策を行なう考え方がある。

答 市長 地域の子育てをお互いに支え合うファミリーサポート事業を、市次世代育成支援行動計画と整合性を図りながら、導入できるよう取り組んでいきたい。

## 一般問

中村勝彦議員

Q 改行 政

### A 各種イベントや組織機構の見直しを検討

問 行政改革について、進行中の実施プログラムを伺いたい。

答 総合政策課長 特別職の給与や管理職手当の削減、職員の旅費の見直しなどが行われている。現在は、各種イベント、補助金、組織機構の見直しが進められている。

問 行政改革のプログラムは、どこで作成し、また、どの段階までいくのか。また、チェックも必要だと思うが、過程を伺いたい。

答 総合政策課長 行政改革大綱の策定は、公募者など十五人で組織した行政改革推進委員会で、活発な議論が行われた。実施状況のチェックは、六月を目途に、市長を本部長とする行政改革推進本部で、各課の自己評価の結果を含め、二次評価を行う予定である。

問 所信表明で随行秘書は置かないと話していたが、現在も一緒に回っているの

を見かけるがどうか。

答 市長 基本的には付けないようにしているが、公務が過密な時に、仕方なく随行を付けている状況である。

問 組織機構改革の具体的な内容は決まっているのか。また、どのようなメンバーで決めているのか伺いたい。

答 総務企画部長 各課の仕事を正確に把握し、市民に分かりやすい組織機構として見直したいが、部署などは検討中である。メンバーは助役を中心とした管

理職の構成となっているが、市民の意見や地域協議会の意見などを伺い、具体的に詰めていきたい。

問 現場に接している職員の声をアンケートなどで聞き、改革に盛り込んでいく考えは。

答 市長 現状では会議が多く、消化できない部分があるが、若手職員の意見を聞く場を多く作っていき

たい。

問 果樹園交流都市が目指す方向は

答 市長 限られた財源、地域資源、人的資源を最大限に有効活用したまちづくりを推進していくことがたい。

答 市長 やボランティア団体などとの連携によるまちづくりの推進は、行政経営の重要なテーマである。豊富な知識、経験などを持つ人材の登録制度の創設や体制づくりを研究していく。

問 合併に伴い職員の制服が廃止されたが、職員の服装についてどのような指

いる力を今以上に集め、市民と連携を深めるためには、専門の部署が必要と思うがどうか。

答 総合政策課長 市民やボランティア団体などとの連携によるまちづくりの推進は、行政経営の重要なテーマである。豊富な知識、経験などを持つ人材の登録制度の創設や体制づくりを研究していく。

答 財政課長 起債残高五百六十六万三千円である。

問 行政改革大綱で公債を除くと三百二十五億六千五百六十六万三千円である。

答 財政課長 一般的な起債の償還期間や借り入れの償還ペースを勘案し、七年くらいが妥当だと決定された。指標も見ながら今年度以降、対応していきたい。

導を行っているのか。

答 総務課長 市職員とともに研究して

感を与えることがないよう周知徹底を図ってきたが、今後も各課をとおして指導

たい。

答 総務課長 市職員とテイア団体や

感を与えることがないよう周知徹底を図ってきたが、今後も各課をとおして指導



今年度策定された集中改革プランなどに基づき、各種イベントや補助金、組織機構の見直しが進められている。

# 一般質問

野尻陽子議員

Q

## 各種税金大幅変更 苦情処理など市民への対応は

### A 個々の申告状況や改正内容を説明

問 各種税金の大幅な変更により、国保税の滞納者

の増減、住民税の非課税から課税世帯への移行はどのくらいか。また、苦情がどの程度あつたか伺いたい。

答 税務課長 国保税の滞納者数は、平成十七年度に比べ、二十四・七%減少しているが滞納繰り越しは十九%増加している。住民税の課税世帯となつた件数は約千三百人で、市民から多くの照会を受けたが、個々の申告状況や税率改正の内容を詳しく説明し、ご理解をいただいた状況である。

問 要介護である場合、病状によっては障害者控除が受けられ非課税になる可能性もある。そのことを市民に知らせているかどうか。

答 税務課長 個人担当で申告書を送付する際、各控除の内容を明記したパンフレットなどを同封し、申告相談時には、障害者控除の対象などを確認している。

問 甲州市の所得の階層を五階層に分けて伺いたい。

答 税務課長 平成十八年度課税申告所得で、百万円以下が六千二百八十八人、

三百万円までが六千四十七人、五百五十万円までが一千六百七十八人、一千万円までが三百四十三人、一千万円以上が百十六人となっている。

問 本市の財政状況について、市長の認識は。

答 市長 市税、地方交付税は景気低迷や制度改正により毎年減少しており、国

きだと思うがどうか。

答 市長 市長会など関係機関と協議をし、考えて

特別交付税など合併直後の臨時の財政措置も減少し、さらに厳しい財政運営が強化される状況である。集中

いきたい。

答 財政課長 平成十九年度の予算編成に向けて検討している段階であり、把握が困難な状況である。公

### 各種団体への補助金 時代にあつた運用を

問 各種団体への補助金

のあり方を見直せないか。

答 総合政策課長 平成十九年度予算編成に向けて、

改革プラン、行政改革大綱に基づき、スリムで効率的な財政運営を目指していく

べき。当たる約四十七円で十二円の軽減になり、年間では約六千円の経費削減になる。生ごみについては、水分を減らすことが一番たいせつであり、生ごみ処理機の補助などを積極的に活用するよう呼びかけていきたい。



急速に進む各自治体のIT化。さまざまな面での経費削減が望まれている。

# 一般質問

丸山国一議員

Q

来年度の予算編成の考えは

## A 限られた財源の効率的配分を実施



合併特例債で改築が進む大和小学校屋内運動場。今年度は14事業へ約13億5,000万円が充当された。

問 来年度の予算編成に対する市長の考えは。

答 市長 行政改革を推進し、経費の削減を図り、住民福祉の増進を基本とした、限られた財源の重点的で効率的配分を行っていかたい。

問 合併特例債をどのように運用、活用するのか。

答 市長 財政上有利な起債である合併特例債の発行可能額は、約百四十五億六千万円で、有効活用を検討していく必要があると考

えている。平成十八年度は、大和小学校屋内運動場改築事業、近代産業遺産整備事業、市道舗装改良事業など十四事業へ約十三億四千五百万円の充当を予定している状況である。

問 ぶどうの丘事業について、全面的な見直しが必要ではないか。現在の施設の現状と、今後の対応について伺いたい。

答 市長 部門別に収益性や集客状況など総合的見地から見直しを行い、不採用の丘ラックはすべて契

算部門や利用頻度の少ない部署については、改善、変更を行っていきたい。また運営については、今後も甲州市直営で行っていくことが好ましいと考えている。

問 トンネルワインカ

ーの現状と今後の対応は。約済みとなつていて、大日影トンネルを利用した遊歩道整備を行い、市内に点在する文化財やぶどうの丘、観光農園、ワイナリーなどの施設を結ぶワイン振興の拠点にしていきた

いと考えている。

答 パラオ共和国との共同事業で実施された、ディアナマリーワインの状況と今後の対応は。

答 ぶどうの丘事務局長 アナマリーワインの状況と輸出を目的とした三種類のワイン一万三千本をディアナマリーという商品名で

醸造し、そのうち三千五百本はパラオ共和国の海に沈め、付加価値を付け、ぶどう

の海に沈め、受け入れ態勢の問題もあるので、ボランティアや施設側の意向を聞きながら対応していきたい。

問 「風林火山」の旗のもと、本市で市民が誇りを持ってお客様を招き、もてなす、新しい目玉の祭りを行う考えは。

答 観光商工課長 行政改革大綱においても、イベントの見直しが課題となつていて。新しいイベントの創設については、見直しと合わせて検討したい。

問 塩山バイパス周辺の企業、商店が進出し、急速に変化する中で、都市計画について伺いたい。

答 都市整備課長 市道下於曾四十一号線については、旧塩山市の都市計画マスター・プランに基づき整備され市民病院を初め、大型スーパーや多くの店が出店し、大きく発展しつつある。

問 NHKの「風林火山」の放映も始まるが、冬場の観光客のために土・日・祝日も運行し、恵林寺まで行けるようにならないか。

答 総合政策課長 今年の利用者実績なども踏まえ、協議していきたい。

問 観光ボランティアの育成や各施設への配置など、活用を、どのように考えているか伺いたい。

答 産業建設部長 必要

設へ出向くなど、新たな観光ボランティアを確保するために、養成講座を開設した。市内各施設への配置は、受けており、ボランティアや施設が一体となって取り組んでいきたい。

## 一般質問

夏八木 盛男議員

Q

### 勝沼地域 フルーツラインへの乗り入れは市民バス

### A 平成十九年四月から運行を予定



勝沼地域を運行している市民バス。フルーツラインへの乗り入れが、平成19年4月から開始される予定である。

問 勝沼町菱山地区内の市民バスについては、フルーツラインへの乗り入れのコース変更と、バス停の設置を三月定例会で提案し、平成十八年度予算に路線変更に必要な経費が計上された。平成十八年度も余すところ三ヶ月であるが、未だにフルーツラインにはバス停もなく、バスも乗り入れがなされていないが、理由を伺いたい。

答 総合政策課長

広域

バスの運行との関係から調整に時間がかかったが、平成十九年四月から運行ができるよう委託業者に対して、関東運輸局、山梨陸運支局と協議、許認可手続きを進めよう依頼をしている状況である。

問 広域バスの運行について、JR三駅と観光拠点、病院を結ぶ新規ルート案などの運行計画を策定し、準備を進めるとのことであったが、進行状況はどうか。

答 総合政策課長 本年五月に甲州市新規バス路線運行計画策定検討会議を立ち上げ、市民サービスの向上と観光振興をねらいとして、JR三駅と観光拠点、事業者から提案を求め、最良の提案をした一社を決定したが、バス運行に関する意見をまとめ、利用者の声を聞き、実現できるように努力していただきたい。

問 I.T.を使つたそれぞれの地域の必要性や特徴に合わせて構築していくデマンド交通システムを提案したいが、調査、研究し導入する考えはあるか。

答 総合政策課長

デマ

市長 去る十月三日から十日まで、市内の中学生を中心とした三十四人と議長も同行し、ボーネス市を訪問したが、目的の一つではある友好都市の調印を無事に締結したところである。これからの中学生を主体として、ホームステイを基本として、交流を深めていきたい。

問 旧勝沼町が友好都市を締結した中国トルファン市との交流についての考えは。また、友好都市締結の申し入れを受けている韓国の永同郡との交流は慎重に対応していただきたいと思うがどうか。

答 総合政策課長

中国

市長 市内の小中学校へ積極的に入学させる考えはあるか検討していただきたい。

問 障害を持つ子どもを、市内の小中学校へ積極的に入学させる考えはあるか伺いたい。

答 教育長

心身障害児

市長 の子どもの状況を把握し、どの学級に入学させることが一番良いかということを判断し、就学先を決定しているが、健常者と障害を持つ児童、生徒が一緒に生活することにより、お互いの理解を深めることにもなるので、地元の学校で学ばせることを基本とすることがたいせつだと考えている。

また、各学校では、障害者を招いて話し合いをするなど、福祉教育も推進している。

問 合わせて構築していくデマンド交通システムを提案したいが、調査、研究し導入する考えはあるか。

答 総合政策課長 中国トルファン市とは平成十二

ながら研究していきたい。  
問 国際交流について、市長は初めてフランス・ボ

成十七年の政治的な問題により、交流が一時休止となっていたが、本年十月に副郡主の一行が甲州市を訪れ、友好都市締結の申し出があった。国際交流全般と行政改革の方針を勘案しながら検討していただきたい。

問 年以来、年賀の挨拶文書のみの交流となつていて、今後の交流については、トルファン市の意向を確認し検討したい。また、韓国永同郡との交流については、平

16

## 一般質問

田邊民男議員

Q

# 指定管理者制度の導入 その目的と定義は

## A 質の高いサービス提供と管理経費を縮減



特異な切り妻づくりの甲州民家の集落として、高い評価を受けている上条集落。資源保護への対応が望まれている。

問 行政サービスの官から民への合い言葉の中で、指定管理者制度の導入を実施しているが、本来あるべき目的、または定義とは何か伺いたい。

答 総合政策課長 指定管理者制度の創設は、公の施設管理に民間事業者の持つ経営ノウハウを活かすことで、施設の効用を最大限に発揮した質の高いサービスの提供と、効率的な管理運営による維持管理経費の縮減、地域の雇用拡大や経済の活性化を目的とするものである。

問 本市において既に九月から十施設が導入済みであるが、導入した時点での問題はないか。また、今後の導入予定、具体的な施設名を伺いたい。

答 総合政策課長 十施設については、それまで管理委託をしていた施設であり、移行に伴つたことで特に問題は生じていない。今

後については、来年四月から交流保養センターと市立勝沼病院へ制度導入を目指している。また平成二十二年度までに、導入または導入を検討する施設として、鈴宮寮、塩山B&G海洋センター、甲州市中央公民館、塩山ふれあいの森総合公園、活性化施設、多目的広場、塩山体育館、勝沼中央公民館、勝沼体育館、勝沼B&G海洋センター、大和スポーツ公園、やまとの大アリ

一ナ、塩山南児童センター、塩山北児童センター、市立の七保育所などがある。

問 保育所への指定管理者制度の導入が検討されるようだが、老朽化した園や園もあるのではないか。今後の方向性を伺いたい。

答 総合政策課長 保育所については、地域や世代間により多様な意見や要望があると思われるので、今後の入所対象人口の推移、

答 総合政策課長 目標効果額として、六億六千四十万円を積算している。基本的に職員の削減はないが、当該施設に勤務していた職員を他の部署に異動させ、市民サービスをさらに充実させることとしている。

問 指定管理者制度導入により、市民サービスという観点からどのようなことが期待できるのか。

答 総合政策課長 指定管理者の指定については、候補選定委員会において、公募によって候補となる団体からの提案を、指定管理者候補選定委員会が検討するが、例えば交流保養センターでは、各種健康教室の

範囲、施設に勘案し、統合や再整備を含め、研究、施設の状況なども総合的に実施する。また、保育所などでは、今後の提案にもよれば、今後も検討が延長保育などが出でてくると考えている。

問 指定管理者制度の導入により、五年が経過した時点での收支面、あるいは雇用者数の変化など、財政効果がどの程度予想されるか伺いたい。

答 総合政策課長 目標効果額として、六億六千四十万円を積算している。基本的に職員の削減はないが、当該施設に勤務していた職員を他の部署に異動させ、市民サービスをさらに充実させることとしている。そこで、この集落を将来どういう方向で、資源の保護をするのか伺いたい。

問 上条集落資源保護の方策は

答 生涯学習課長 文化財としての価値を持つ上条集落の今後の保存措置については、居住者や地域の皆様、関係団体等のご理解と同意が不可欠である。過日、第一回目の意見交換会を開催したが、今後も検討会を重ねていき、有効的な保存への方向付けをしていくと考えている。

■市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひお出かけください。  
■傍聴席入口に氏名・住所を記入し入場していただきます。  
■日程などについては、定期会前議会運営委員会で決定しますので、決まりました。  
■市議会ホームページなどでも案内します。なおご不明な点については、  
議会事務局までお問い合わせください。■(三)(二)一一一 内線二〇一

## 傍聴してみませんか？

次回の定期会は三月上旬  
開会を予定しています。

※お詫びと訂正

議会広報第四号、四ページの平成十七年度決算、介護保険事業の記事の文中に誤りがあります。このお詫びと訂正いたします。  
六年間の累積金額で一億七千百二十七万九百九十八円。



No.2「ほっとけー」作・三森 滉



## こちら編集室

明けましておめでとうございます。みなさまには清々しい新年を迎えられ、猪年に向かた思いを新たにされたことと思います。甲州市も合併して二年目となり、さらなる発展に向けて走り出しました。NHK大河ドラマ「風林火山」も放映が始まりました。わたしたちのまちは、信虎、信玄、勝頼の武田氏三代にわたる史跡、交流都市として、市民の皆様が誇りを持てる「ふるさと」甲

州を全国に知つてもらう飛躍の年にしていきましょう。今年も編集委員一同、議会においての議論、審議の内容を正確にお伝えし、わかりやすく、親しまれる広報づくりに猪突猛進。暖冬とはいえ寒さが益々厳しくなります。健康には気を付けましょう。(F)

■議会広報編集委員会 市議会議長 廣瀬 祐一 副委員長 原 勝 藤宗 委員 委員 委員 委員 委員 委員

丸山 国一 原 勝 藤宗 委員 委員 委員 委員 委員

曾根 益彦 原 勝 藤宗 委員 委員 委員 委員 委員

夏八木 盛男 原 勝 藤宗 委員 委員 委員 委員 委員

武藤 雅美 原 勝 藤宗 委員 委員 委員 委員 委員

## 市民フォーラム

### テーマ

### 「甲州市のここが好き」

#### おいしい水や果物に感謝

石田清子さん(大和町日影)

甲州市は豊かな自然といい水や果物に恵まれたわたしの大好きな町です。なぜなら、わたしの疲れた体や心を癒してくれるからです。中でも、大和町の水のおいしさは定評がありまです。中央道の置き土産、工事中に溢れ出した湧水を、見事に飲料水として利用した、見事に感謝しながら、毎日おいしくいただいています。

また、市内で四季折々に収穫される果物のおいしさも格別です。土を愛する人たちの汗の結晶が実ったとき、食べる人も作る人も共に幸せを感じます。

大和町の水や果物に感謝する人が多い甲州市。ハイキン

ツツジ、ほかには玉宮のザゼンソウも名が知られ、他県

からの観光客にも尊敬や賛美も受けける甲州市。

こんなたくさんのがあります。甲州市が大好きです。

#### たくさんの国宝やすばらしい景観

金子近さん(塩山下於曾)

甲州市は多くのドラマの主人公、山本勘助のような義きょう心の強い人も多い甲州市。ハイキン介山で有名な大菩薩、三座のツツジ、ほかには玉宮のザゼンソウも名が知られ、他県からも簡単に観て回れる中里山や黄美も受けける甲州市。こんなたくさんのがあります。甲州市が大好きです。

#### 豊かな地域行事が残る大藤

廣瀬國子さん(塩山上粟生野)

冬休み小中学生は道祖神へ参拝したり、親方の指導で籠馬作りやはやし歌を習い、当日を迎える各戸をまわる。翌日よりお山たてと、どんど焼きの準備と続く。二十日の早朝、おこん袋を各戸へ配り、お日待ちをして正月行事を終える。この間、子どもたちの遊び姿や歓声、人々の協力は地域の活性化そのもの、大藤大好きの源です。

#### 勝沼ぶどう郷駅からの四季折々の風景

坂本土郎さん(勝沼町勝沼)

日本初の文流作家、樋口一葉女史ゆかりの地、大藤には豊かな地域行事が今も存続する。人と人とのつながりが失われつつある昨今、祭りは人間関係を深めてくれます。正月二日はまきつかんじ、冬休み小中学生は道祖神へ参拝したり、親方の指導で籠馬作りやはやし歌を習い、当日を迎える各戸をまわる。翌日よりお山たてと、どんど焼きの準備と続く。二十日の早朝、おこん袋を各戸へ配り、お日待ちをして正月行事を終える。この間、子どもたちの遊び姿や歓声、人々の協力は地域の活性化そのもの、大藤大好きの源です。